

卒業生アンケート結果の検討（一般教育等）

一般教育等に関連が深い項目における肯定的評価の割合は以下のとおりである。

【歯科衛生学科】（回答者：217名）

歯科衛生に関する専門的知識（座学） [一般教育]

82.9%（十分身についた16.1% 身についた66.8%）

90.7%（大変役立っている14.7% 役立っている48.8% 役立っていることもある27.2%）

【社会福祉学科社会福祉専攻】（回答者：60名）

[一般教育]

78.4%（十分身についた11.7% 身についた66.7%）

91.6%（大変役立っている10.0% 役立っている48.3% 役立っていることもある33.3%）

【社会福祉学科介護福祉専攻】（回答者：46名）

[生涯学習への意欲・姿勢]

84.8%（十分身についた23.9% 身についた60.9%）

95.6%（大変役立っている23.9% 役立っている39.1% 役立っていることもある32.6%）

【こども学科】（回答者：61名）

[幅広い教養]

96.8%（十分身についた14.8% 身についた82.0%）

96.8%（大変役立っている14.8% 役立っている65.6% 役立っていることもある16.4%）

[一般教育]

91.8%（十分身についた18.0% 身についた73.8%）

95.1%（大変役立っている13.1% 役立っている62.3% 役立っていることもある19.7%）

全般的に肯定的な評価が得られたといえる。今後は各項目における「十分身についた」「大変役立っている」の割合をさらに増やすよう、授業内容や方法の改善に取り組んでいきたい。本学は一般教育を重視し、多様な一般教育科目を提供しているが、カリキュラムの過密化によって一部の科目は同時開講されている。

学生の選択の幅を広げ、バランスの取れた履修を可能にするためには、同じ科目群の科目を組み合わせで同時開講するといった工夫が有効と考えられる。